

平成28年度 学校マネジメントシート

三重県立上野高等学校（全日制）

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		1 生徒が学びがいを実感する学校 2 保護者・地域が頼りがいを実感する学校 3 教職員が働きがいを実感する学校
(2)	育みたい 児童生徒像	1 先行き不透明な時代にあって、どのように社会が変化しようと、問題を解決しながら自分の人生をたくましく切り拓いていくための知力・徳力・体力を有する生徒 2 自分を大切にしつつ他者の人権を尊重し、自分を律しつつ他者と共に学び、行動し、他者を思いやる心、奉仕の心、感動する心などの豊かな人間性を有する生徒
	ありたい 教職員像	1 自由闊達な職場風土の中で協働と研修を通して職能成長を図る教職員 2 生徒の成長に使命と情熱を感じる真の教育専門職たらしめる教職員

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		○生徒：学力の向上と進路希望の実現、勉学と部活動の両立 ○保護者：国公立大学への進学を中心とする進路希望の実現、充実した学校生活 ○卒業生・地域住民：地域の伝統的な進学校・中心校としての役割、文武両道にわたる活躍と実績 ○大学：学力と意欲の高い生徒の育成	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待		連携する相手への要望・期待
	○PTA：進路希望実現、健全育成、学校情報の発信・提供 ○地域住民：情報発信と地域貢献 ○小中学校：地域の子どもたちを共に育てるとの観点に立った連携・交流 ○地域の関係機関：地域人材の輩出		○PTA：教育活動・教育環境充実のための理解・協力 ○地域住民：教育活動への理解・協力 ○小中学校：指導上必要な情報提供等 ○地域の関係機関：キャリア教育充実のための協働態勢
(3) 前年度の学校関係者評価等		○ 分かりやすい活動・成果指標を設定すべきである。 ○ 各種調査については、クロス集計を行うなど分析方法を工夫すべきである。 ○ 進学校であっても就業体験を実施すべきである。 ○ 普通科の魅力化・活性化を促進すべきである。 ○ ローカルプライドと地域愛を育んでほしい。	
(4) 現状と課題	教育活動	○ 伊賀地域の中学生の減少に加え、名張市から津市や他府県の高校への進学者が増加傾向にあることから、多様な生徒が本校に入学するようになってきている。習熟度別少人数指導や土曜講座等を実施するとともに、ホームルーム担任による個別面談の充実を図るなどして、個に応じたきめ細かな指導の充実を図る必要がある。 ○ 生徒・保護者の80%以上が国公立大学への進学を希望しているが、合格者は生徒の約30%である。どのような学習指導・進路指導が効果的かを研究し、その成果を学校全体で共有するとともに、進学指導體制の充実と進学実績の向上を図る必要がある。 ○ 人権尊重の態度を身に付けた心豊かな人間形成を目指し、ホームルーム活動を中心に人権教育を実施しているが、昨年度、障がい者を蔑む用語の不適切な使用が発覚した。人権意識を高め、いじめや差別を見抜き、なくそうとする意欲と実践力を身に付けた生徒を育成する必要がある。 ○ 本校には文武両道の伝統があり、生徒・保護者も学習活動とともに部活動の充実を期待している。「進学校」としての役割を果たしつつ、運動や芸術文化活動に関する特別活動・部活動の充実に努め、知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成を推進していく必要がある。	

学校運営等	<p>○ 本校の教育活動の現状や成果が保護者、中学校関係者、地域等に未だ十分に伝わっていない。ホームページを充実させ、学校説明会や授業公開の在り方を工夫するとともに、学校行事を公開するなどして「開かれた学校づくり」を一層進める必要がある。</p> <p>○ 勤務時間外に個別指導、分掌業務、教材研究、部活動指導業務等に従事して恒常的に過重労働に陥っている職員や、放課後の会議等で多忙感を持つ職員が多い。平成 28 年度から新たに導入する 2 学期制・65 分授業の状況も見守りながら、職員間の連携・協働、効率的な学校運営等を一層促進し、過重労働緩和・総勤務時間縮減に向けた取組を積極的に進める必要がある。</p>
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 中長期的な重点目標

教育活動	<p>1 目指す学校像「生徒が学びがいを実感する学校」を実現するための重点目標 「全教職員による共通理解の下、生徒の『自己指導能力』（その時、その場で、何をすべきで、何をすべきでないかを自ら考え、判断し、行動する能力）を向上させる共通実践を継続することにより、生徒一人ひとりが自律的な学習習慣と生活態度を確立して進路希望を実現し、さまざまな教育活動に主体的・協働的な態度で取り組み、他者と共生する力を身に付けている。」という状態を重点目標とする。</p>
学校運営等	<p>2 目指す学校像「保護者・地域が頼りがいを実感する学校」を実現するための重点目標 「卓越した魅力ある教育活動の推進、学校情報の積極的な提供・発信、学校関係者評価委員会・人権教育推進協議会の活性化、適切迅速な対応等により、保護者・地域の満足と信頼を安定的に確保しており、その結果、本校への入学を希望する中学生とその保護者が増加する傾向にある。」という状態を重点目標とする。</p> <p>3 目指す学校像「教職員が働きがいを実感する学校」を実現するための重点目標 「活気のある明るい組織風土の中で教育活動・学校運営を継続的に改善するための仕組みや教職員間・校内組織間のチームワークが適切に機能するとともに、過重労働緩和・総勤務時間縮減に関する取組が適切に講じられており、大多数の教職員が本校で勤務することに満足している。」という状態を重点目標とする。</p>

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重要取組

項目	取組内容・指標	結果	備考	
◆アクションプラン1：全校体制で授業研究に取り組み、学習指導に関する指導力の向上を図ります。				
学習指導	活動指標	○教科横断的グループによる研究授業・授業評価の実施 ○生徒による授業評価年2回実施	○実施した。 ○2回実施した。	※
	成果指標	○生徒の授業満足度（「とても満足」と「満足」の計、以下同じ） 85%以上	○85.2%（12月）	
改善課題				
<p>生徒の授業満足度については成果指標とほぼ同じ程度に達してはいるが、家庭での学習習慣を確実に身に付けさせ、主体的・計画的に学習する「自立した学習者」を育成するための取組を、関係分掌が互いに連携を図りながら学習指導・生徒指導・進路指導の一体的な取組として進める必要がある。</p> <p>また、65分で行うアクティブ・ラーニング型授業の効果的な在り方について、教科単位で行う授業研究に加え、教科横断的に編制したグループ別の授業研究を一層活性化させ、全教員で研究を進める学校風土を醸成する必要がある。</p>				

項目	取組内容・指標	結果	備考	
◆アクションプラン2：生徒が自己の進路希望を実現できるようキャリア教育の充実を図ります。				
キャリア教育(進路指導)	活動指標	○文部科学省教育課程研究指定校事業(総合的な学習の時間)を核に据えた「進学型キャリア教育」の計画的・系統的実施 ○「進学型インターンシップ」の新規実施	○計画的に実施した。 ○20のテーマに分かれて実施した。	◎
	成果指標	○第1学年生徒の総合的な学習の時間の授業満足度82%以上 ○国公立大学合格者数第3学年クラス平均10人以上	○授業満足度73.6% ○クラス平均12人 (H29年3月23日現)	

			在	
改善課題				
<p>本年度の第1学年から新たな内容・方法で指導している総合的な学習の時間については、各学習活動の時間が十分確保できず、生徒が各課題を深く考えたり、その内容を話し合ったりする探求活動が十分にできなかった。今後は、生徒が主体的に考え、深く学ぶ探求活動の在り方を更に研究する必要がある。また、地域を支え、地域の発展に貢献するという方針を一層明確にした取組を強化するため、行政等の関係機関との連携強化を図る必要がある。</p> <p>さらに、生徒の進路実現に向け、その中心的な役割を担うホームルーム担任を支援する態勢を更に整える必要がある。</p>				

項目	取組内容・指標		結果	備考
◆アクションプラン3：卓越した理数科教育を推進します。				
理数科	活動指標	<ul style="list-style-type: none"> ○アクティブ・ラーニング型授業を専門科目の60%以上で実施 ○高大連携先の新規開拓 ○「総合的な学習の時間」、「課題研究」の授業運営方法の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ○ほぼ全ての専門科目で実施した。 ○新たに「東京キャリアアップツアー」を実施した。 ○週時程内で実施できた。 	
	成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の各活動満足度90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問100% ・夏季学習合宿95% ・理数科体験講座100% ・キャリアアップツアー97%等 	
改善課題				
<p>専門教科「理数」に属する「課題研究」等の各科目や総合的な学習の時間の授業を通して、思考力・判断力・表現力の育成を目指した生徒主体の学習活動は実施できた。今後は、各学習活動の質的向上を図る必要がある。</p> <p>また、東京キャリアアップツアーについては、大学キャンパス訪問の内容を充実する必要がある。</p>				

項目	取組内容・指標		結果	備考
◆アクションプラン4：人権教育を積極的に推進します。				
人権教育	活動指標	<ul style="list-style-type: none"> ○人権学習LHRを各学年年1回以上公開 ○校内職員研修、小グループ研修及び小学校との交流をそれぞれ年2回以上実施 ○人権学習LHR実施時のホームルーム担任による家庭訪問 	<ul style="list-style-type: none"> ○各学年1回公開した。 ○2回実施した。 ○一部実施した。 	
	成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ○人権問題の解決に向け主体的に考え、実践できる生徒の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ○3年間で人権意識が高まったと答えた3年生の割合53.5% 	
改善課題				
<p>昨年度の反省を踏まえ、人権LHRの前後を中心に家庭訪問及び関係機関訪問を進めたが、家庭訪問が難しい状況もあり課題である。昨年度に引き続き「ことば」の問題が発生したことから、組織的に対応・指導を行ったが解消には至っていない。地域や家庭との連携と継続的な指導が必要と考えられる。</p>				

項目	取組内容・指標		結果	備考
◆アクションプラン5：生徒理解を深め、生徒の自己指導能力を高める指導を推進します。				
生徒指導	活動指標	<ul style="list-style-type: none"> ○登校指導、着こなし指導等共通実践を年5回以上実施 ○保健講話またはメンタルヘルス講演会を各学年1回実施 ○支援を必要とする生徒に関する事例検討会を適宜実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○年5回実施した。 ○各学年1回実施した。 ○11月に実施した。 	
	成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ○問題行動による特別指導件数年3件未満 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題行動による特別指導件数年3件 	
改善課題				
<p>生徒が学校生活のあらゆる場面において何をすべきで、何をすべきでないか、自ら気づき、考え、行動することができるよう、生徒の自己指導能力の向上を目指した指導について、全教員が共通理解を一層深める必要がある。</p> <p>また、5年前から新入生に配付している「生活の手引き」について、必要な箇所を部分改定したい。</p>				

(2) 学校運営等

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標		結果	備考
◆アクションプラン6：学校情報を積極的に提供・発信し、広報活動を強化します。				
情報発信	活動指標	○ホームページ掲載件数(更新履歴件数)年 60 件以上 ○中学生向けリーフレットの更新・配布 ○生徒主体の学校説明会(体験授業を含む)年2回開催	○94件(平成29年3月10日現在) ○伊賀地域の中学校等に1500部配布 ○生徒主体の理数科体験講座(中学生79人参加)及び高校生活入門講座(330人参加)を開催	◎
	成果指標	○平成29年度後期選抜普通科・理数科合計入学志願倍率1.1倍以上	○志願倍率1.08倍	
改善課題				
上記の取組の他に、本年度から新たに文化祭を中学生とその保護者に限定公開し、本校生徒が生き生きと活動する様子を見てもらえたことも功を奏したと思われる。今後も、持続可能で効果的な広報の在り方を工夫し、本校の取組を地域に発信し続ける必要がある。				

項目	取組内容・指標		結果	備考
◆アクションプラン7：地域の発展に貢献します。				
地域貢献	活動指標	○明治校舎HAQUAホールでのイベント年5回以上開催 ○教科・部活動等による地域貢献活動計年 15 回以上実施	○3回開催 ○17回実施	
	成果指標	○マスコミ報道年3回以上	○報道回数年4回(文化祭限定公開、生徒の伊賀市長選挙期日前投票、伊勢志摩サミット学生記者、上野天神祭生徒参加)	
改善課題				
本校の取組・成果を目に見える形で地域に発信できるよう、マスコミへの情報提供を一層積極的に行う必要がある。また、明治校舎HAQUAホールの活用方法を見直し必要がある。				

項目	取組内容・指標		結果	備考
◆アクションプラン8：学校運営を継続的に改善する仕組みを整備し、過重労働緩和・総勤務時間縮減を学校全体で進めます。				
職員満足度の向上	活動指標	○学校の魅力化・活性化の具体方策を提言する有志職員チームの立ち上げ ○校内組織内・間の情報共有及び報告・連絡・相談・確認の徹底	○「ネクスト委員会」を立ち上げ、年12回開催。 ○デスクネットの積極活用を進めた。また、週時程内に3学年会・教科会を設定した。	
	成果指標	○教職員満足度調査の学校満足度に関する項目で「概ね満足」以上と回答した教職員75%以上	68.9%	
改善課題				
教職員の約1/3が本校に満足していない状況を重く受け止め、目指す学校像「働きがいのある学校」を実現するために何ができるか、何に取り組むかを達成目標とともに設定し、着実に実践する必要がある。				

5 学校関係者評価

<p>明らかになった 改善課題と次への 取組方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学力向上については、上位層の伸長だけでなく、下位層の底上げをもっと行うべきである。 ○IT化の進展等生徒を取り巻くコミュニケーション環境が著しく変化してきており、短い言葉での会話が生徒同士のコミュニケーションの主流となっている。一方、大学では自分の意見や考えを論理的に説明する機会が多い。高校では、教師・生徒間の適切な言葉遣いについて共通理解に基づく指導を行うとともに、各教科等で言語活動を積極的に取り入れた指導が必要である。 ○高校が地域の発展に貢献する人材の育成を目指す教育を行うことは大変良い。今後は、本校にも、国際的な視野に立って地域で考え、行動する「グローバル人材」を育成する路線も確立していったほしい。 ○特に伊賀地区南部からの志願者数を増加させるためには、本校の教育活動を更に魅力化するとともに、創意工夫を生かした広報活動をもっと積極的に展開すべきである。 ○過重労働抑制及び職員満足度向上の観点から、ストレスチェックの結果を踏まえた適切な対応が必要である。
--------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 次年度に向けた改善策

<p>教育活動につ いての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学力層の下方拡大を防止するため、必要に応じて平常時から補習等を行う。 ○ 学校教育活動のあらゆる場面で、生徒による言語活動を一層積極的に行う。 ○ 総合的な学習の時間では、地域の多様な主体と更に連携・協働して、ローカルプライドを有し、グローバルな視点で考え、行動するグローバル人材の育成を目指す教育活動を展開する。
<p>学校運営につ いての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大部分の教職員が大きな満足感を持って勤務できるよう、学校安全衛生委員会の活性化を図り、多忙感解消のための具体的な方策を検討し、全教職員の共通理解の下で実施する。 ○ PR委員会を新たに設置し、学校情報の発信・提供の在り方について検討するとともに、施設面の「強み」である明治校舎及び図書館の活用方法について地域貢献の観点から検討する。